



ふくおか[Good👍]農業人100

主な農産物／鉢物植木等、約15種類

渡辺 剛さん (30歳) (営農地／久留米市田主丸町)

高い決意を持って

《就農のきっかけ》

造園関係の会社で7年

「学校は地元の高校、短期大学を出ました。そのころは特に就農を意識したことはありませんでした。」と学生時代を思い出されていました。「でも、物心つくまえから両親にくっついて、畑へ行っていたようです。」と語ってくれた渡辺さん。

大学卒業後は、家が鉢物、緑化木の生産を行っていることもあり、造園関係の会社に7年間勤められ、結婚を機に就農しました。

鉢物生産は1年中忙しく、自分の時間がとれない上、天気によって左右され、マニュアル通りいかないことが、ほとんど。その他、たくさんの苦労がかかるため、『就農したい』と相談したとき、両親は反対しました。しかし、苦労をしながらも、お客さんのニーズに応えるために商品作りを行い、努力し続ける父の姿をみて、就農を決意しました。」と、ごく自然に就農したような口調で話をされていました。ご両親から引き継がれている丁寧な仕事の様子が、ハウス内の整然とならんだ花苗に表れているようでした。



プロフィール

- 家族構成／父、母、本人、妻、子ども1人
- 前職／会社員
- 営農年数／約3年
- 従業員数／3名
- 耕作(経営)面積／40a
- 販路／花市場

《これまでの過程》

まだまだ仕事を覚えている段階

就農してからのことをお聞きしたところ、「まだまだ、仕事を覚えているところです。鉢物栽培で気を遣う水やりは、一人ではやらせてもらえません(笑)。」と謙虚な渡辺さん。でも、ここ数年でブルーベリー苗の種類や数が増えているとのことで、就農された意欲が、少しずつ経営に良い効果となっているようです。

「親父が、ふと外出のときなど、パートさんへの指示出しに苦勞しています。常時来てもらっているのだから、作業がないというのは問題ですから。」

栽培だけでなく経営面もがんばっていることが会話の中にも感じられました。

《これからの展望》

力強い仲間をつくりたい

現状をなんとか自分の力で維持したいというのが目標とありますが、もう少し従業員を増やして、規模を大きくしたい気持ちもあります。

当面は、情報交換や相談できる仲間を作りたいです。農業はどうしても一人ではできない。同じ目的や意識を持った仲間がいて強くなると思います。



Good👍 成功のためのポイント

就農すると簡単に外出することが出来なくなるので、仲間を増やす、情報交換できるような友人をたくさん作っておくと良いと思います。